

国立民族学博物館研究報告 vol.5-1; 表紙, 目次ほか

| | |
|-----|---|
| 雑誌名 | 国立民族学博物館研究報告 |
| 巻 | 5 |
| 号 | 1 |
| 発行年 | 1980-03-30 |
| URL | http://hdl.handle.net/10502/00009254 |

1980・3 5_巻1_号

国立民族学博物館 研究報告

- ペルー南部における海岸と高地の交流——増田昭三
- 南部ペルーのアンデス西斜面における環境利用——大貫良夫
- 南部ペルーアンデス西斜面の先スペイン文化——藤井龍彦
- 中央アンデス南部高地の環境利用
——ペルー、クスコ県マルカパタの事例より——山本紀夫
- 中央アンデス南部農村の家族、親族とアイユウ
——姻族 (qata/q'aćun) を中心に——佐藤信行
- 中央アンデスの民話とアマゾンの神話——栽培植物・労働・死の起源——友枝啓泰
- Las Relaciones entre las Tierras Altas y la Costa
del Sur del Perú—Fuentes Documentales——PEASE G. Y., Franklin



国立民族学博物館

〒565 大阪府 吹田市 千里 万国博記念公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

5 卷 1 号

1980年3月

目 次

| | | |
|--|----------------------|-----|
| ペルー南部における海岸と高地の交流 | 増田 昭三 | 1 |
| 南部ペルーのアンデス西斜面における環境利用 | 大貫 良夫 | 44 |
| 南部ペルーアンデス西斜面地域の先スペイン文化 | 藤井 龍彦 | 83 |
| 中央アンデス南部高地の環境利用 ——ペルー、クスコ県マルカパタの事例より—— | 山本 紀夫 | 121 |
| 中央アンデス南部農村の家族、親族とアイユウ ——姻族 (qata/q'acun) を中心に—— | 佐藤 信行 | 190 |
| 中央アンデスの民話とアマゾンの神話 ——栽培植物・労働・死の起源—— | 友枝 啓泰 | 240 |
| Las Relaciones entre las Tierras Altas y la Costa del Sur del Perú ——Fuentes documentales—— | Franklin PEASE G. Y. | 301 |
| 彙 報 | | 311 |
| 国立民族学博物館研究報告寄稿要項 | | 313 |
| 国立民族学博物館研究報告執筆要領 | | 314 |

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 5 No. 1

March 1980

| | |
|-----------------------|--|
| MASUDA, Shozo | Interregional Relationships in Southern Peru: Maritime Activities of Highlanders in Three Southern Departments of Arequipa, Moquegua and Tacna 1 |
| ONUKE, Yoshio | Environmental Exploitation of the Western Slope of the Andes of Southern Peru44 |
| FUJII, Tatsuhiko | Prehispanic Cultures of the Western Slope of the Southern Peruvian Andes83 |
| YAMAMOTO, Norio | Environmental Exploitation on the Eastern Slope of the Southern Central Andes: A Case Study of the Agrico-Pastoral Society of Marcapata, Cuzco, Peru 121 |
| SATO, Nobuyuki | Native Concept of <i>Ayllu</i> and <i>qata/q'acun</i> (Siblings-in-law): A Study of Family, Kinship and <i>Ayllu</i> 190 |
| TOMOEDA, Hiroyasu | Central Andean Folktales and Amazonian Myths: The Origin of Cultivated Plants, Labor and Death 240 |
| PEASE G. Y., Franklin | Las Relaciones entre las Tierras Altas y la Costa del Sur del Perú: Fuentes Documentales 301 |

彙 報 (昭和55年10月～
昭和55年12月)

人事異動

(行政職) (昇任)

11月1日 情報管理施設資料室長 佐藤秀夫 (東京外国語大学庶務課課長補佐)

12月16日 管理部展示課長 安達香代 (文部省学術国際局ユネスコ国際部国際学術課)

(配置換)

11月1日 分子科学研究所総務部人事課長 内田正英 (情報管理施設資料室長)

12月16日 京都大学庶務部国際主幹 村尾康 (管理部展示課長)

(教育職) (採用)

10月1日 助手 伊東一郎

海外における研究・調査・収集活動

| 氏名 | 出 発 | 帰 国 | 行 先 |
|----------------------------|----------|----------|---------------------------------------|
| 石毛 直道 助教授 (第5研究部) | 54.10.3 | 54.10.8 | 香港 |
| 松山 利夫 助手 (第1研究部) | 54.10.13 | 54.11.1 | 大韓民国 |
| 君島 久子 教授 (第1研究部) | 54.10.20 | 54.11.10 | 中華人民共和国 |
| 佐々木高明 教授 (第2研究部) | 54.10.20 | 54.11.10 | 中華人民共和国 |
| 藤井 知昭 助教授 (第2研究部) | 54.10.20 | 54.11.10 | 中華人民共和国 |
| 大丸 弘 助教授 (第5研究部) | 54.10.20 | 54.11.10 | 中華人民共和国 |
| 大森 康宏 助手 (第3研究部) | 54.10.25 | 55.1.20 | フランス, ドイツ連邦共和国, スペイン, イタリア, スイス, オランダ |
| 吉本 忍 助手 (第2研究部) | 54.11.1 | 54.12.20 | インド |
| ケネス・ラドル 外国人研究員 (第5研究部) | 54.11.15 | 54.11.30 | フィリピン, タイ, マレーシア, シンガポール, インドネシア |
| 梅棹 忠夫 (館長) | 54.11.16 | 54.12.6 | 中華人民共和国 |
| 杉村 棟 助教授 (第2研究部) | 54.11.17 | 54.12.15 | 連合王国, エジプト, シリア |
| 大丸 弘 助教授 (第5研究部) | 54.11.23 | 54.12.17 | 連合王国, スイス |
| 中山 和芳 助手 (第1研究部) | 54.12.1 | 55.1.10 | アメリカ合衆国, アメリカ合衆国信託統治領ミクロネシア |
| コウ・ヘイスン・チャン 外国人研究員 (第5研究部) | 54.12.15 | 54.12.21 | 大韓民国 |
| 祖父江孝男 教授 (第1研究部) | 54.12.18 | 54.12.23 | 大韓民国 |

来館者抄

昭和54年

- 10月1日 柴田 紀男 (天理大学助教授)
 8日 バーバラ・チャールス (スミソニアン研究所)
 11日 Jacques RUFFIÉ (Professeur au Collège de France, Laboratoire d'Anthropologie Physique)
 William TAYLOR (カナダ国立人類学博物館長)
 18日 金 明 會 (韓国国際文化協会会長)
 René PELISSIER (ボルドーブラックアフリカ研究センター)
 23日 Hélène CLAUDOT (Centre National de la Recherche Scientifique,
 26日 丹野 郁 (埼玉大学教授)
 別府 春海 (スタンフォード大学人類学部教授)
 30日 A. JEANNERET (スイス民族学博物館長)
 11月2日 常 書 鴻 (中国・敦煌文物研究所長)
 季 承 仙 (敦煌文物研究所)
 常 沙 娜 (中央工芸美術学院講師)
 8日 Liliana Silvia CANADAS MAEJIA (ホンデュラス大学図書館長)
 10日 Thérèse Pascale BATESTI (フランス人間博物館回教アジア展示

責任者)

12月8日 中日友好学者訪日代表团

- 季 福 徳 (中日友好協会理事)
 施 谷 (中国社会科学院世界政治研究所主要負責任)
 劉 丁 (中国人民大学法律系副教授)
 郭 朋 (中国社会科学院世界宗教研究所仏教研究專家)
 任 繼 聖 (中国社会科学院法学研究所國際法研究室助理研究員)
 金 泰 相 (吉林省社会科学院日本問題研究所助理研究員)
 凌 星 光 (中国社会科学院世界經濟研究所員)
 吳 瑞 鈞 (中日友好協会)
 ツエレンドフ (モンゴル人民共和国駐日大使)
 12日 森 主一 (静岡女子大学教授)
 20日 加藤 富子 (地方自治研究資料センター所長)
 坂田 吉雄 (京都産業大学教授)
 中埜 喜雄 (同 教授)
 川北 靖之 (同 講師)

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認められた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスミ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万国博記念公園
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限る。図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]

[Leach 1961: 123]

[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]

9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。

- (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
- (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題(タイトル)、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13(4): 311-330。

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthro-
pology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術——』 堀 一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The Uni-
versity of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 5 卷 1 号

審査委員

梅 棹 忠 夫
中 根 千 枝

祖 父 江 孝 男

編集委員

江 口 一 久
竹 村 卓 二
友 枝 啓 泰
藤 井 龍 彦

加 藤 九 祚 (編集委員長)

垂 水 稔
中 村 俊 龜 智

昭和 55 年 3 月 22 日 印 刷
昭和 55 年 3 月 30 日 発 行 非 売 品

国立民族学博物館研究報告 5 卷 1 号

編集・発行 国立民族学博物館

〒565 吹田市山田小川 41-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社

〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol. 5 no. 1
March 1980

- | | |
|-----------------------|--|
| MASUDA, Shozo | Interregional Relationships in Southern Peru: Maritime Activities of Highlanders in Three Southern Departments of Arequipa, Moquegua and Tacna |
| ONUKE, Yoshio | Environmental Exploitation of the Western Slope of the Andes of Southern Peru |
| FUJII, Tatsuhiko | Prehispanic Cultures of the Western Slope of the Southern Peruvian Andes |
| YAMAMOTO, Norio | Environmental Exploitation on the Eastern Slope of the Southern Central Andes: A Case Study of the Agrico-Pastoral Society of Marcapata, Cuzco, Peru |
| SATO, Nobuyuki | Native Concept of <i>Ayllu</i> and <i>qata/q' aćun</i> (Siblings-in-law): A Study of Family, Kinship and <i>Ayllu</i> |
| TOMOEDA, Hiroyasu | Central Andean Folktales and Amazonian Myths: The Origin of Cultivated Plants, Labor and Death |
| PEASE G. Y., Franklin | Las Relaciones entre las Tierras Altas y la Costa del Sur del Perú: Fuentes Documentales |



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X